

2025年3月期 第3四半期決算説明会

(ダイジェスト版)

アステリア株式会社

(東証プライム:3853)

2025年2月14日





会社概要

アステリア株式会社



アステリア株式会社

◆本社事業 ✓ 企業向けソフトウェアメーカー

◆子会社 ✓ AI研究開発(日本)
✓ ソフトウェア開発(シンガポール、中国)
✓ 企業投資(米国)

◆株式市場 東証プライム(3853)

◆設立 1998年9月

◆資本金 22億7,534万円

◆従業員数 136名(連結)

(2024年12月31日現在)

ソフト業界で
ノーコード
ブロックチェーン
ウェルビーイング
など先進分野を
牽引!!



サイボウズ等と2022年に発足

ノーコード推進協会



ブロックチェーン推進協会



国内最大のブロックチェーン団体



CWO(最高ウェルビーイング
責任者)を新設



アステリア株式会社

世界を目指す、企業向けの

ソフトウェアメーカー

受託開発なし

変化に迫られる国内企業

2025年の崖(システム更改/人材不足)

2024年問題(残業規制)

人手不足・少子高齢化

IT人材79万人不足※1

11月:フリーランス新法施行

1月:電子帳簿保存の義務化

4月:労働安全衛生規則改定

4月:公益信託法改正

1,500地方自治体がデジタル実装※2

2024年

2025年

2026年~

トランプ2.0

会社法改正:バーチャル総会の規制緩和

web3

ガバメントクラウド/デジタル行財政改革

生成AI

オフィスロボット

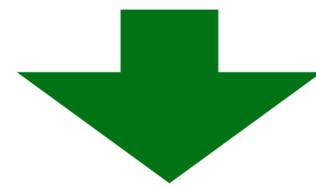
GX2040ビジョン

SAP2027年問題

※1:経済産業省:IT人材需給に関する調査 調査報告書
※2:デジタル田園都市構想総合戦略2023改訂版

社会全体の課題となるIT人材不足

2030年に
最大**79万人**不足
最小**41万人**不足



IT人材でなくてもシステム・アプリを作ることができる

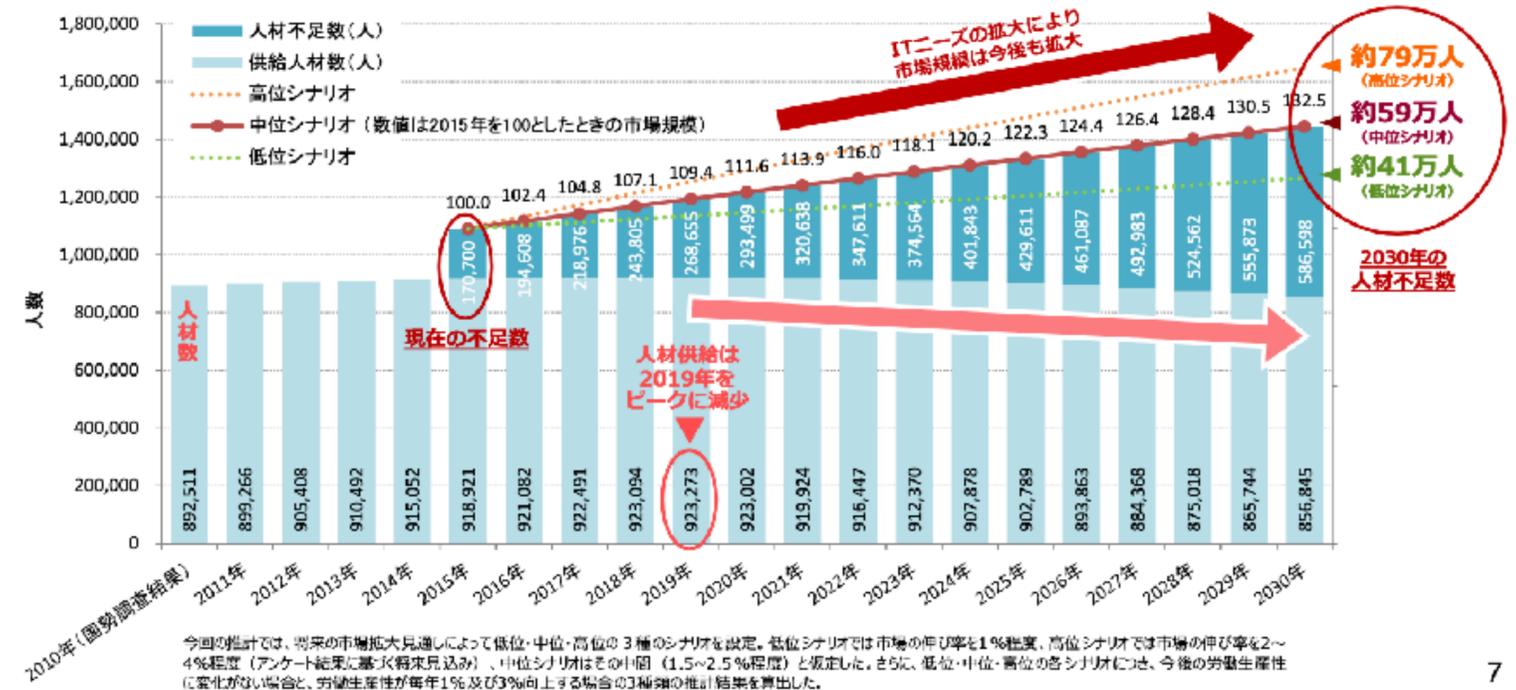
ノーコード

<2> IT人材動向の将来予測

IT人材の「不足規模」に関する推計結果

- IT関連産業の産業人口に関する将来推計（マクロ推計）の一環として、人材の不足状況や今後の見通しに関するアンケート調査結果に基づき、現在及び将来の人材不足数に関する推計も実施。
- マクロ推計によれば、**2015年時点で約17万人のIT人材が不足している**という結果になった。さらに、前頁で示されたとおり、今後IT人材の供給力が低下するにもかかわらず、ITニーズの拡大によってIT市場は今後も拡大を続けることが見込まれるため、IT人材不足は今後ますます深刻化し、**2030年には、（中位シナリオの場合で）約59万人程度まで人材の不足規模が拡大する**との推計結果が得られた。

- 2 今後のIT人材の不足規模
- IT人材の不足規模に関する予測
- 2015年の人材不足規模：約17万人
- 2030年の人材不足規模：約59万人（中位シナリオ）
⇒ IT人材不足は、今後ますます深刻化



出典：経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」2016年

主力製品: データ連携ツール「ASTERIA Warp」

◆ 18年連続市場シェアNo.1

◆ 「データ連携」のスタンダード



ノーコードでのデータ連携が
10,000社以上で導入済み

出典: テクノ・システム・リサーチ
「2024年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」

主力製品：強力な販売エコシステムを構築

◆販売パートナー（AMP,ASP）を通じ100%間接販売

充実したパートナー連携
プログラム

営業支援



情報提供



マーケティング
支援



技術支援



Asteria⁺ warp

マスターパートナー(AMP)

ライセンス版Warpの販売とシステム構築

Panasonic

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

株式会社 日立ソリューションズ

SCSK

32社

RICOH

NEC

FUJITSU

富士通Japan株式会社



TIS
TIS INTEC Group

サブスクパートナー(ASP)

サブスク版Coreの販売と導入支援

伊藤忠テクノソリューションズグループ
CTCSP

80社

アスエネ

systema

日立システムズパワーサービス

テクニカルパートナー(ATP)

システム構築支援やアダプターの開発

ISI Software
Human Solution for IT Problem

tcdi

24社

DCR

第一コンピュータリソース



Suzuyo
shinwart

QDTS
Delivering Tomorrow's Solutions

Cypress Solutions

※ロゴはパートナー例

決算概要

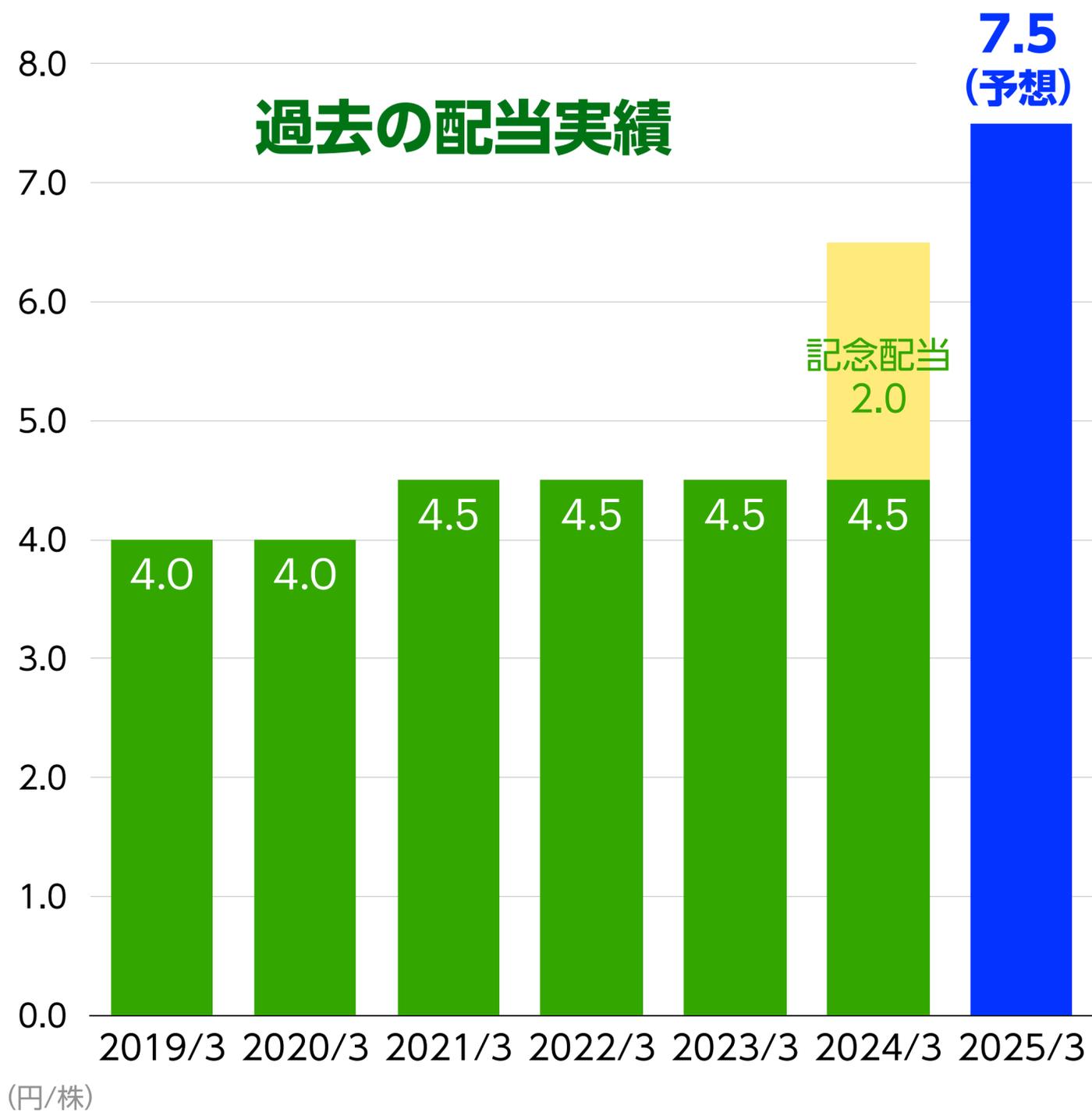
2025年3月期 第3四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

業績予想と期末配当予想の上方修正



- ✓ ソフトウェア事業の利益が拡大見込み
- ✓ SpaceX株式の評価益増

配当方針の変更による株主還元強化



✓ 配当方針変更

• 連結配当性向**30%目標**

• **累進配当**

✓ 期末配当予想

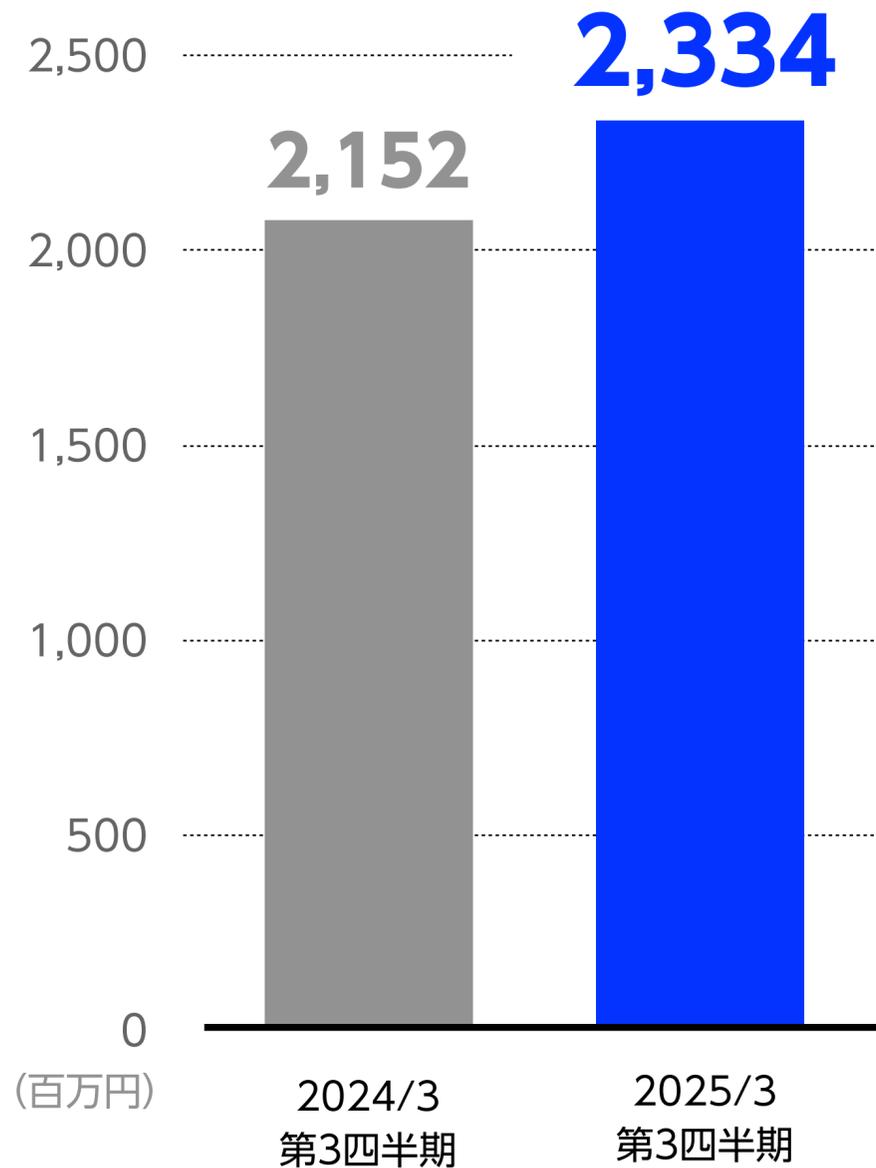
7.5円に上方修正 (50%増)

✓ 自己株式取得

総合的に勘案して機動的に検討

過去最高ペースのソフトウェア事業

売上収益

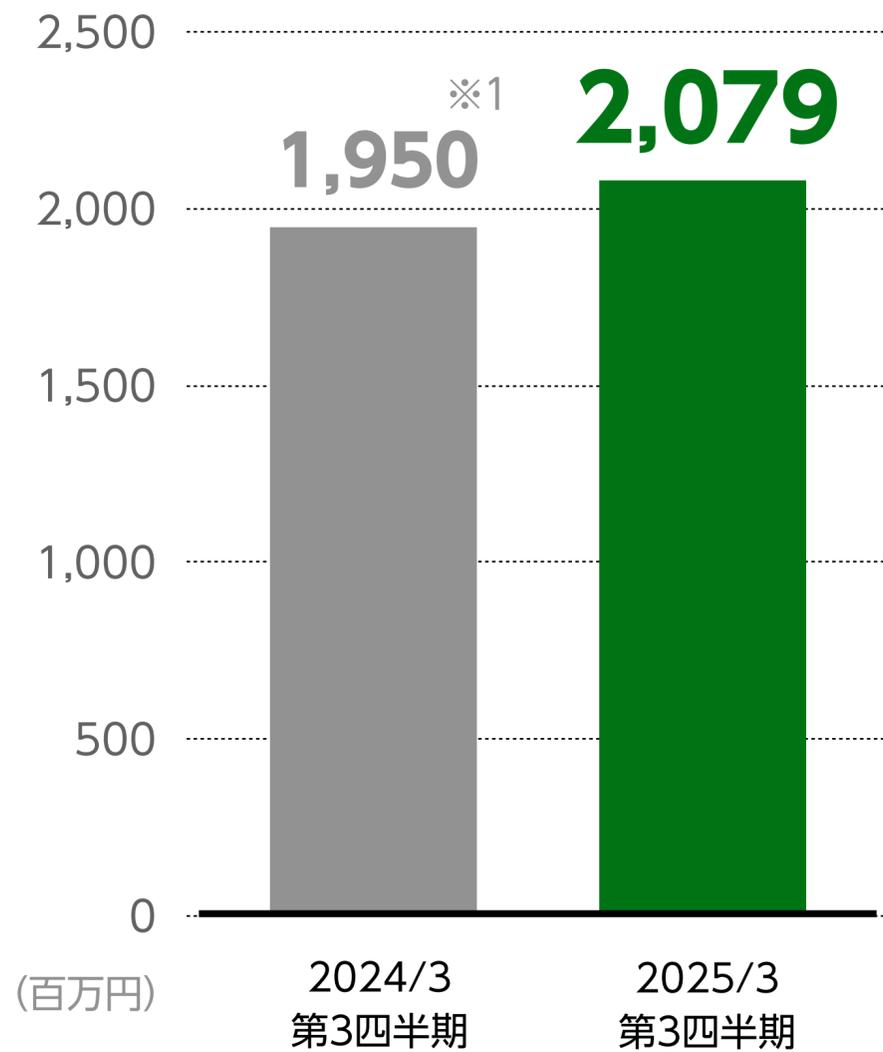


8.5%増収 (前年同期比)

- ✓ Warp売上
Q3累計で**20億円**を突破
- ✓ Platio売上
Q3累計で**1億円**を突破

過去最高ペースのソフトウェア事業

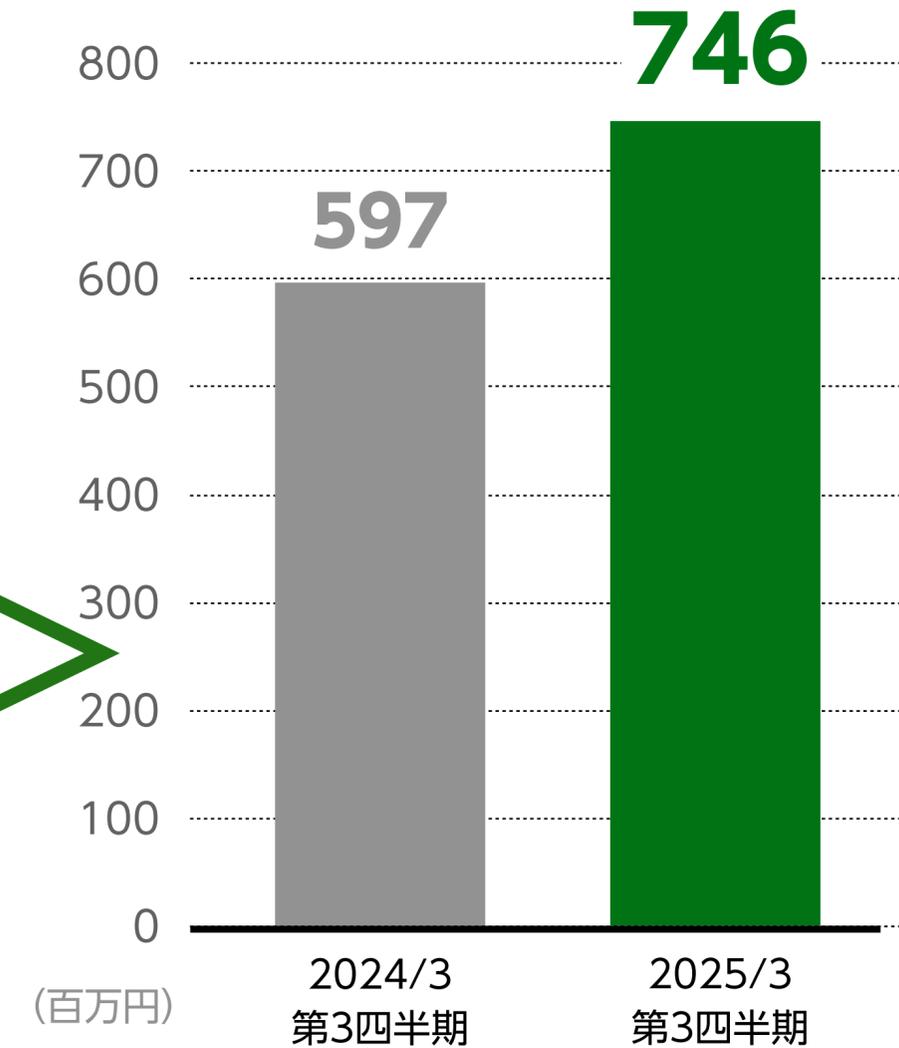
売上総利益(粗利)



粗利率 約9割
前年同期比6.7%増
粗利20億円を突破

EBITDA利益率32%
高い利益率を維持

調整後EBITDA^{※2}



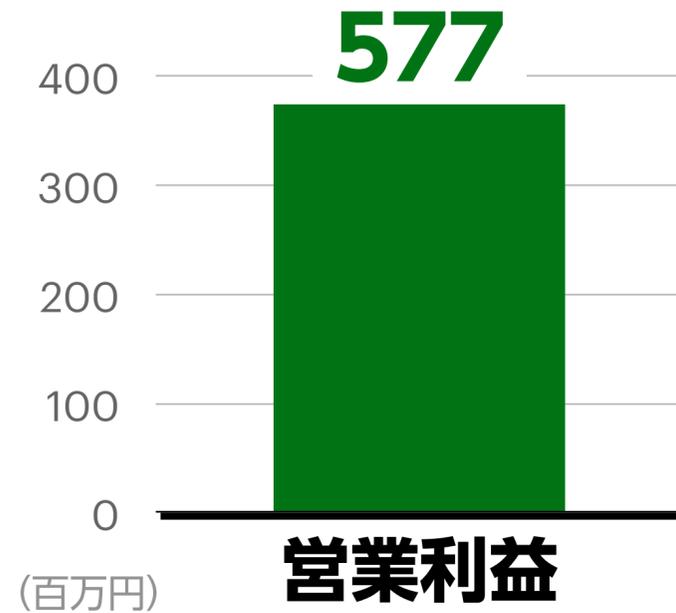
※1 This Place売却(2024年3月)により、前年同期はソフトウェア事業に国内デザイン事業(非継続)が加わった数値

※2 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 ± 調整項目(のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等)

各セグメントの営業利益と連結営業利益

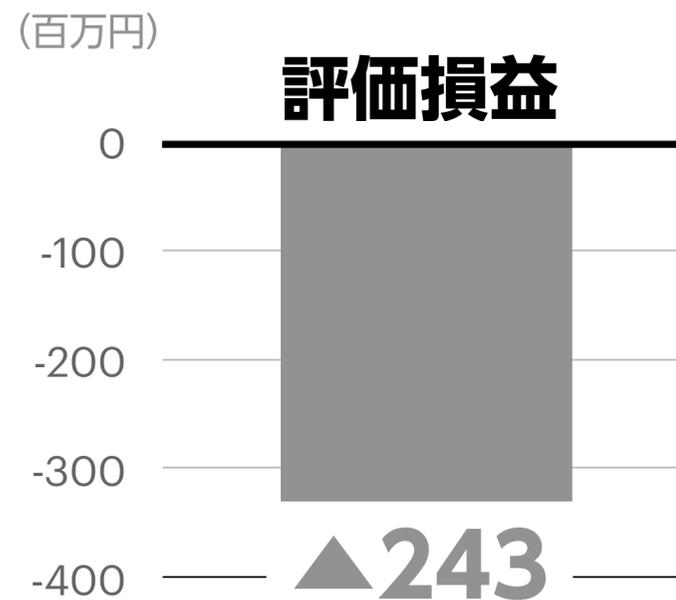
ソフトウェアセグメント

各製品の
着実な成長が寄与

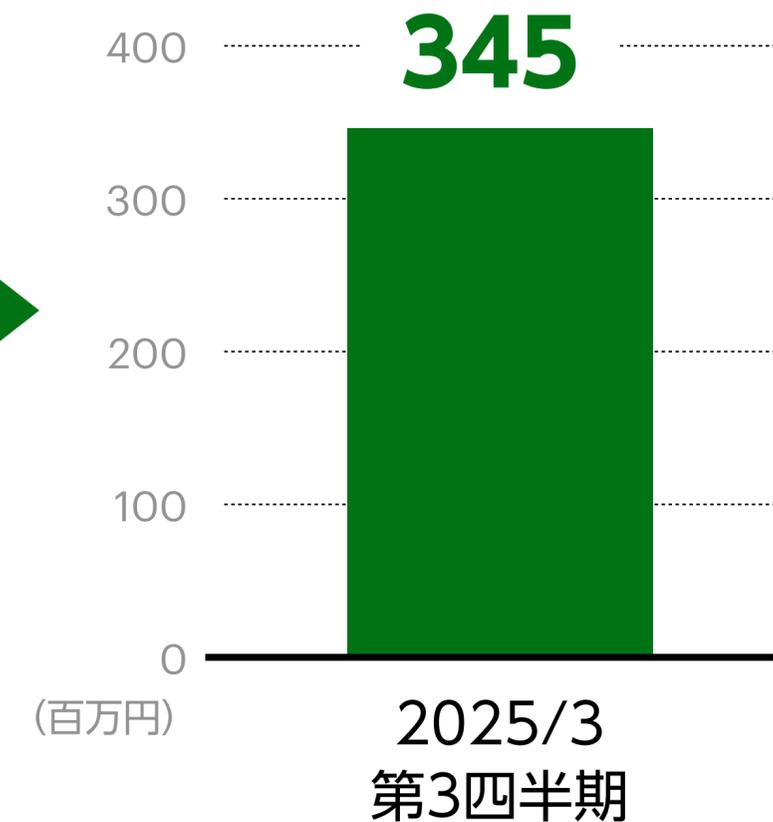


投資セグメント

Q2までに
Gorilla株式を
売却完了

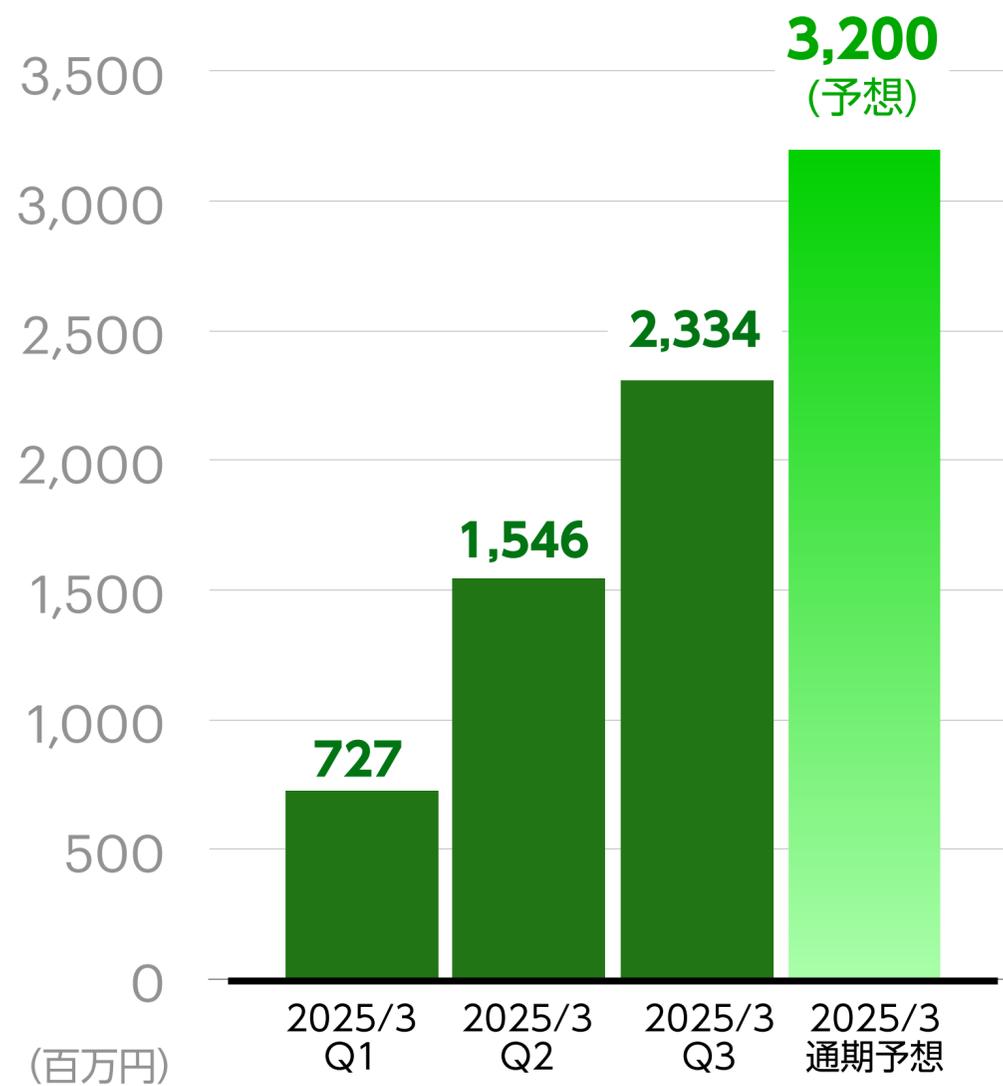


連結営業利益
Q2の72(百万円)から大幅増加

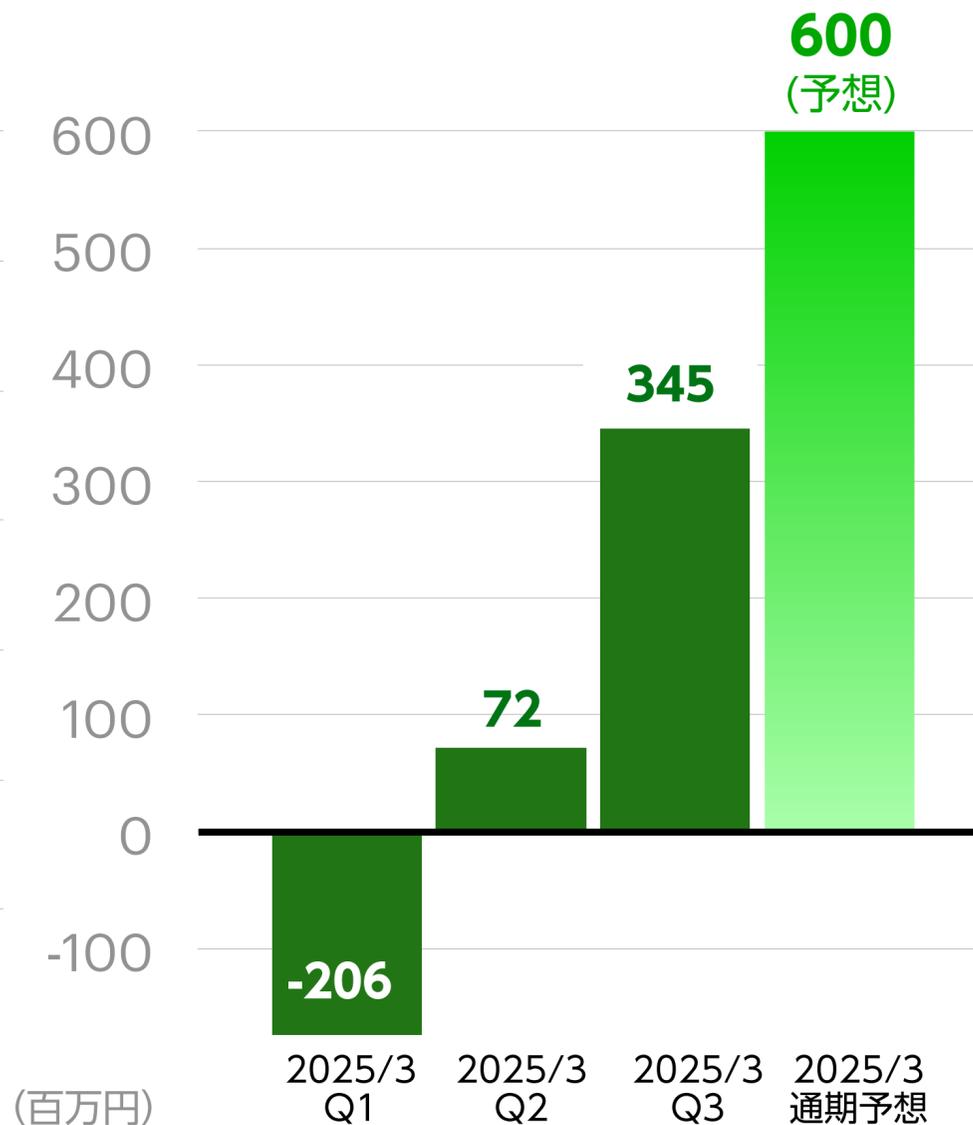


第3四半期累計の実績と業績予想

売上収益

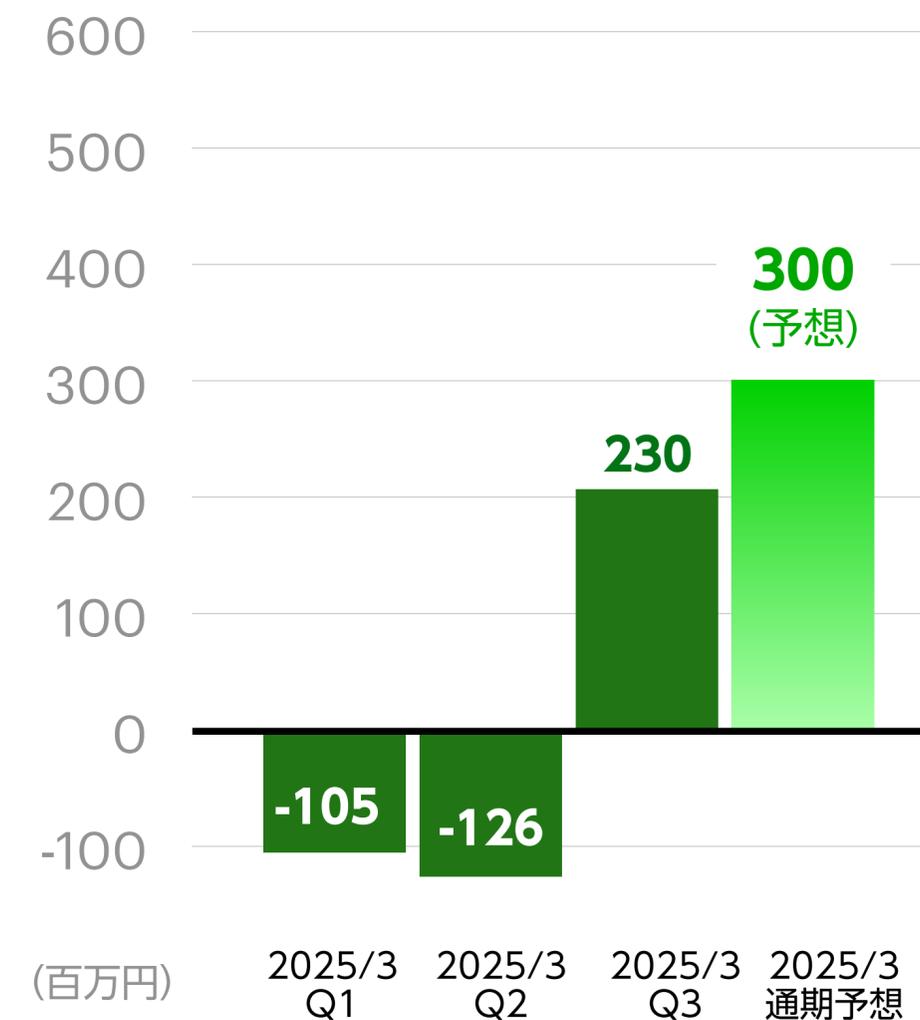


営業利益

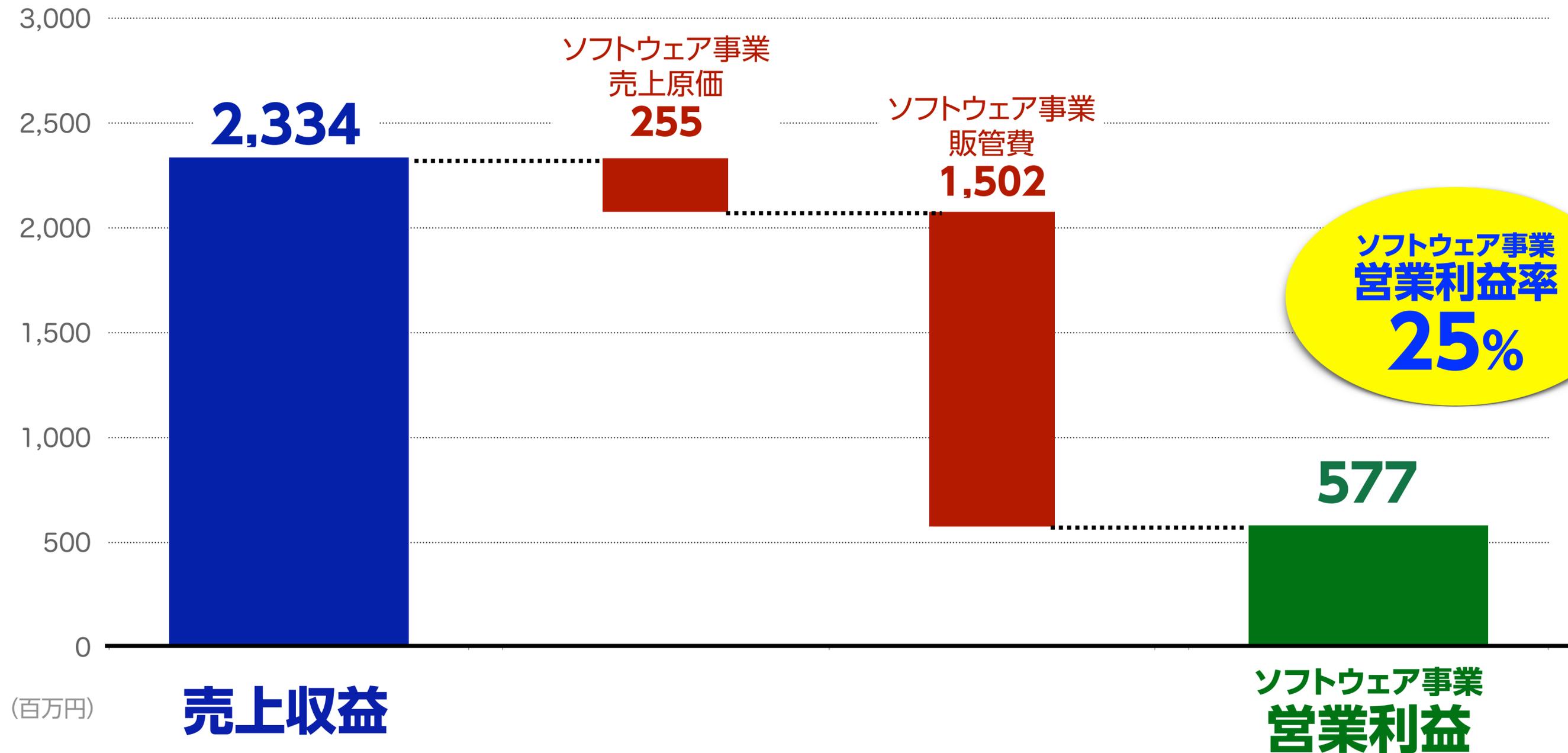


親会社の所有者に帰属する

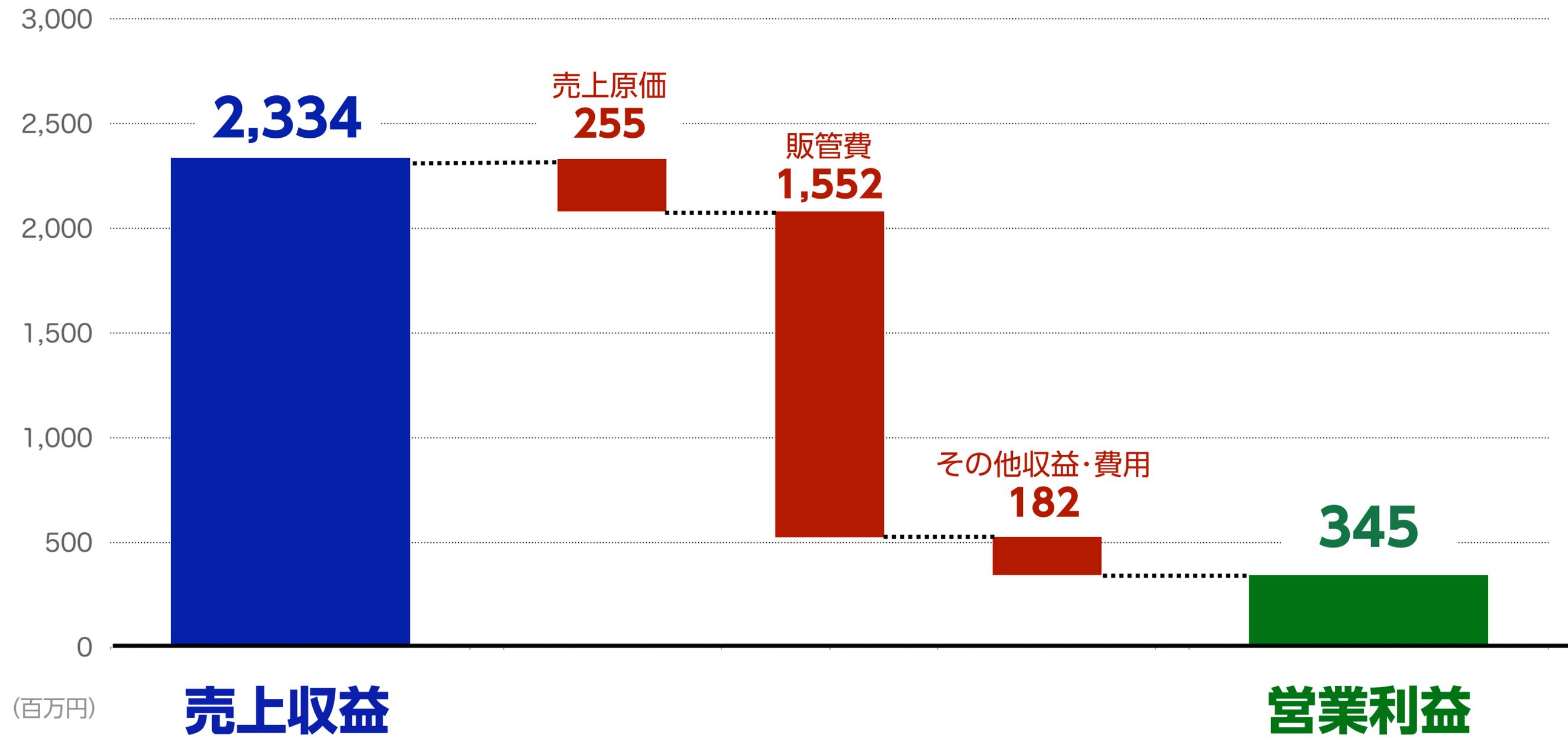
当期利益 (四半期利益)



ソフトウェア事業：売上収益から営業利益まで

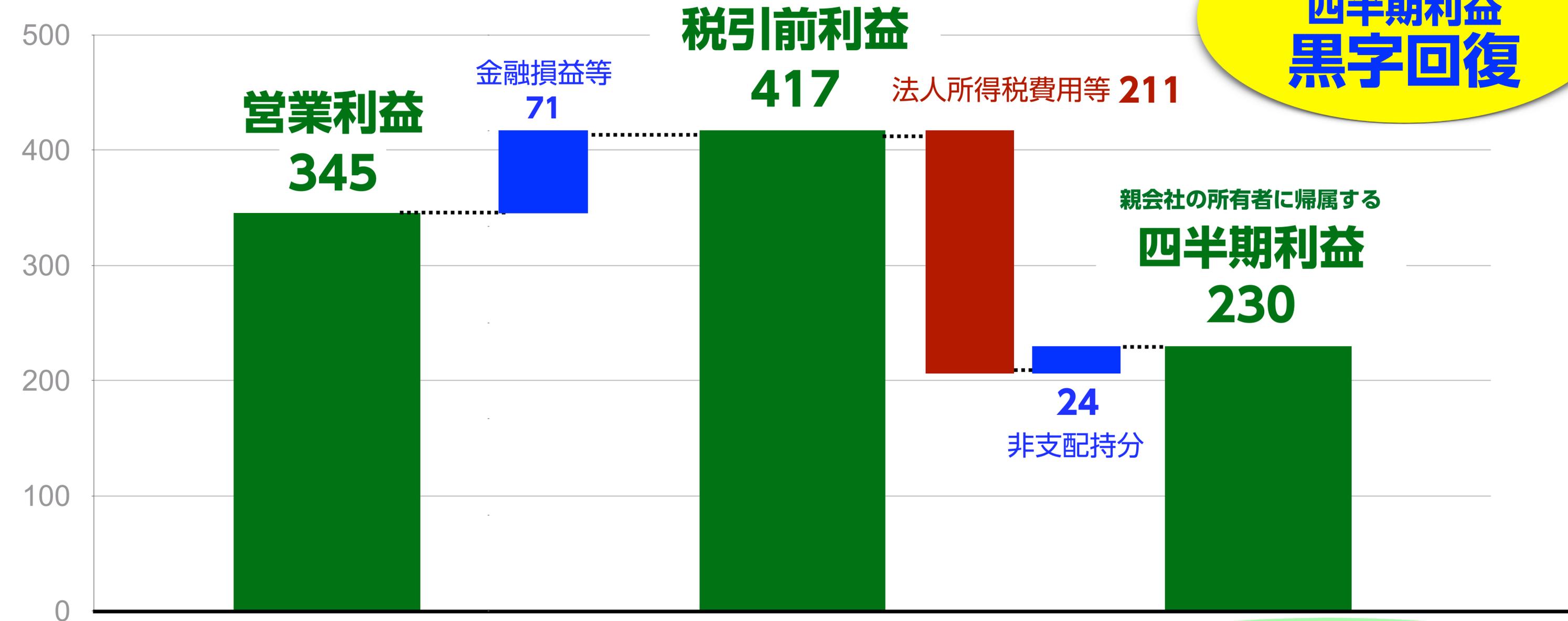


連結：売上収益から営業利益まで



連結：営業利益/税引前利益/四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)

(百万円)



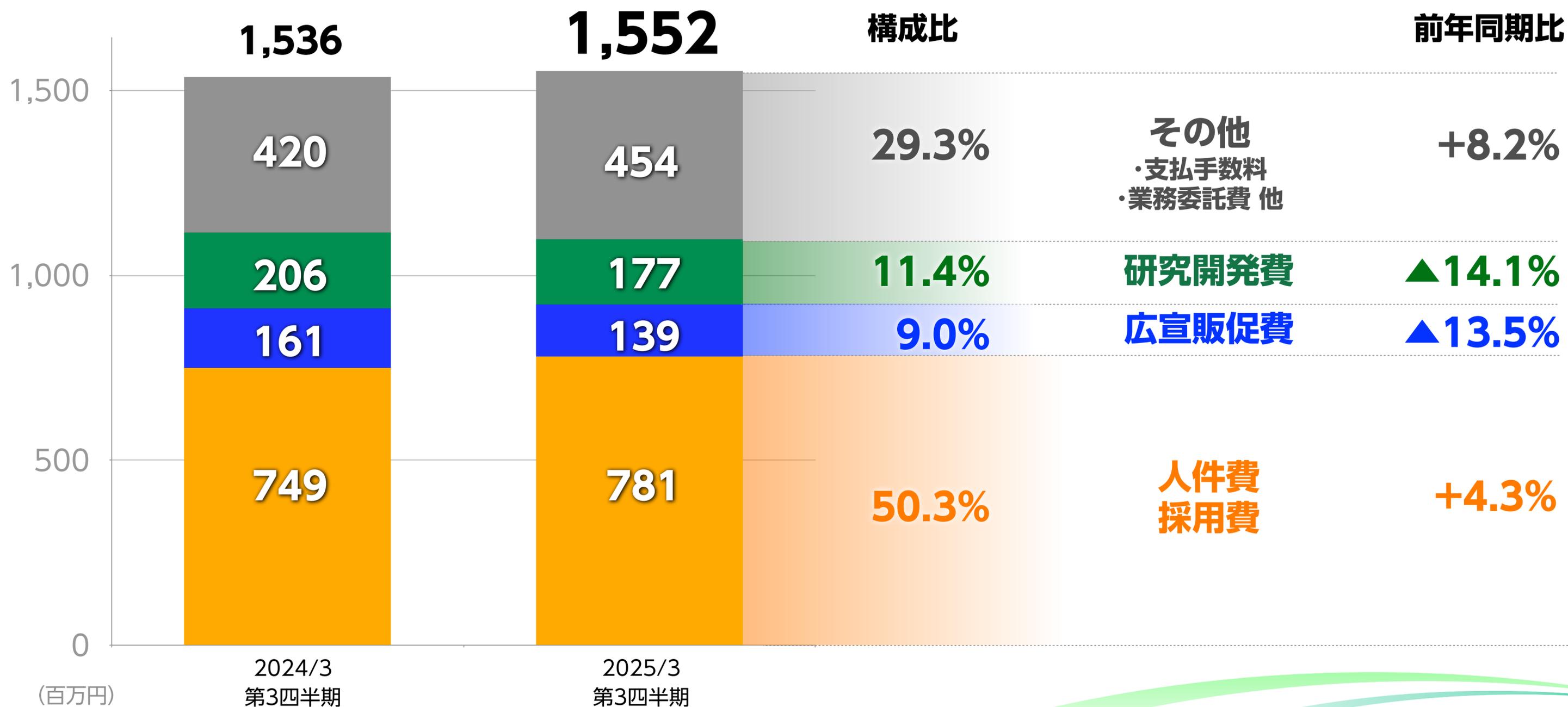
税引前利益
四半期利益
黒字回復

親会社の所有者に帰属する

四半期利益
230

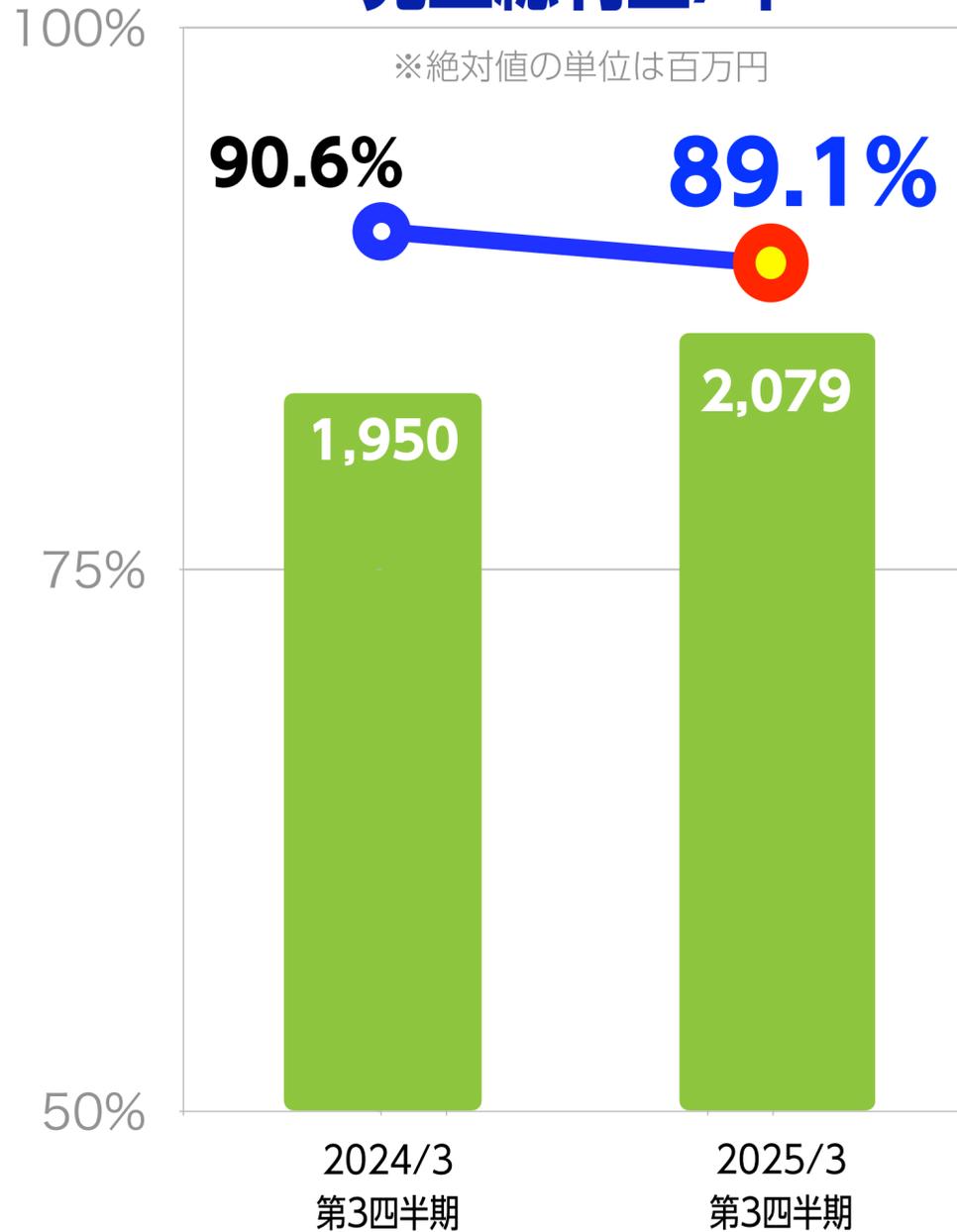
販売管理費の推移(前年同期比)

◆ 売上収益増でも販管費は効率化し利益に貢献

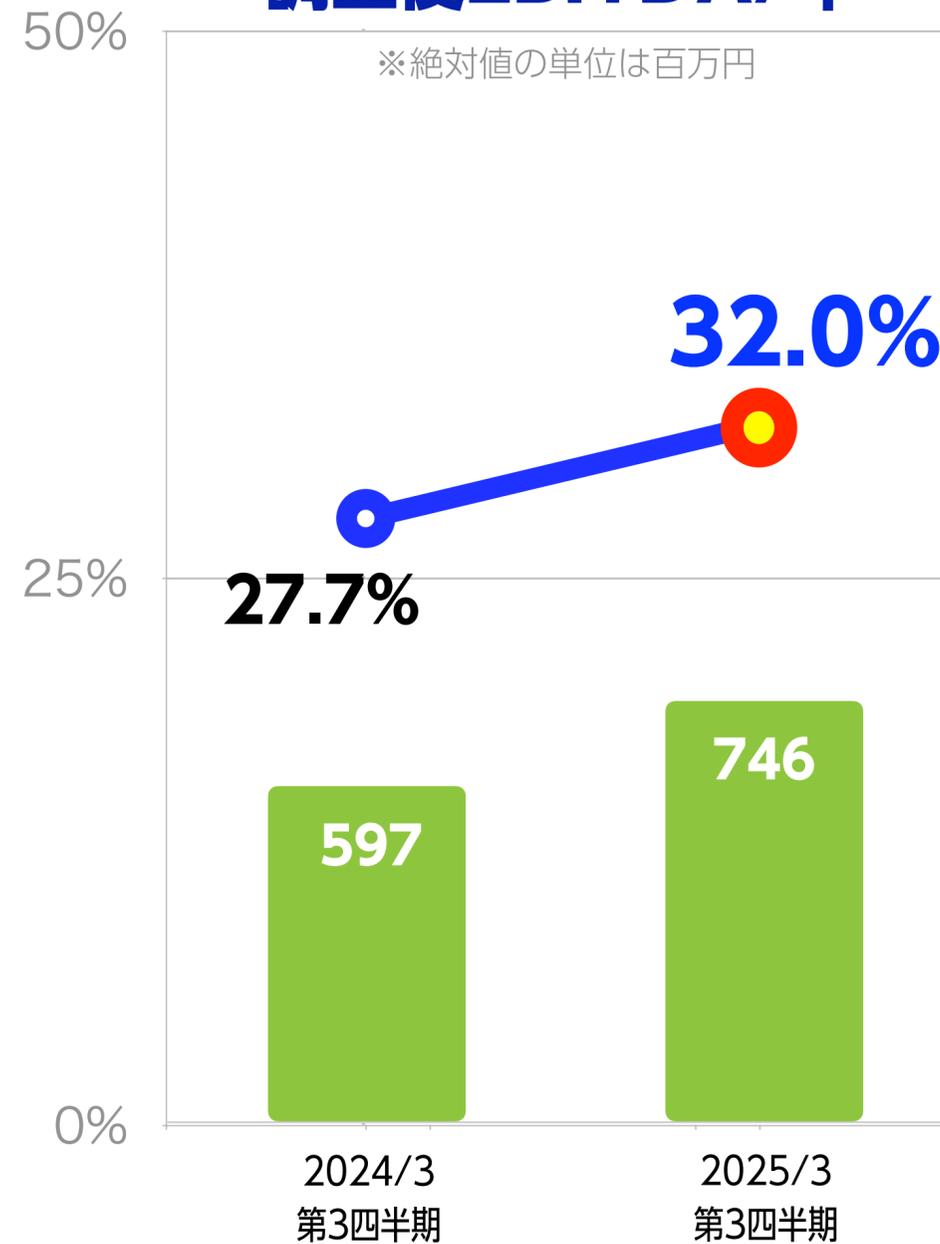


主な経営指標の推移

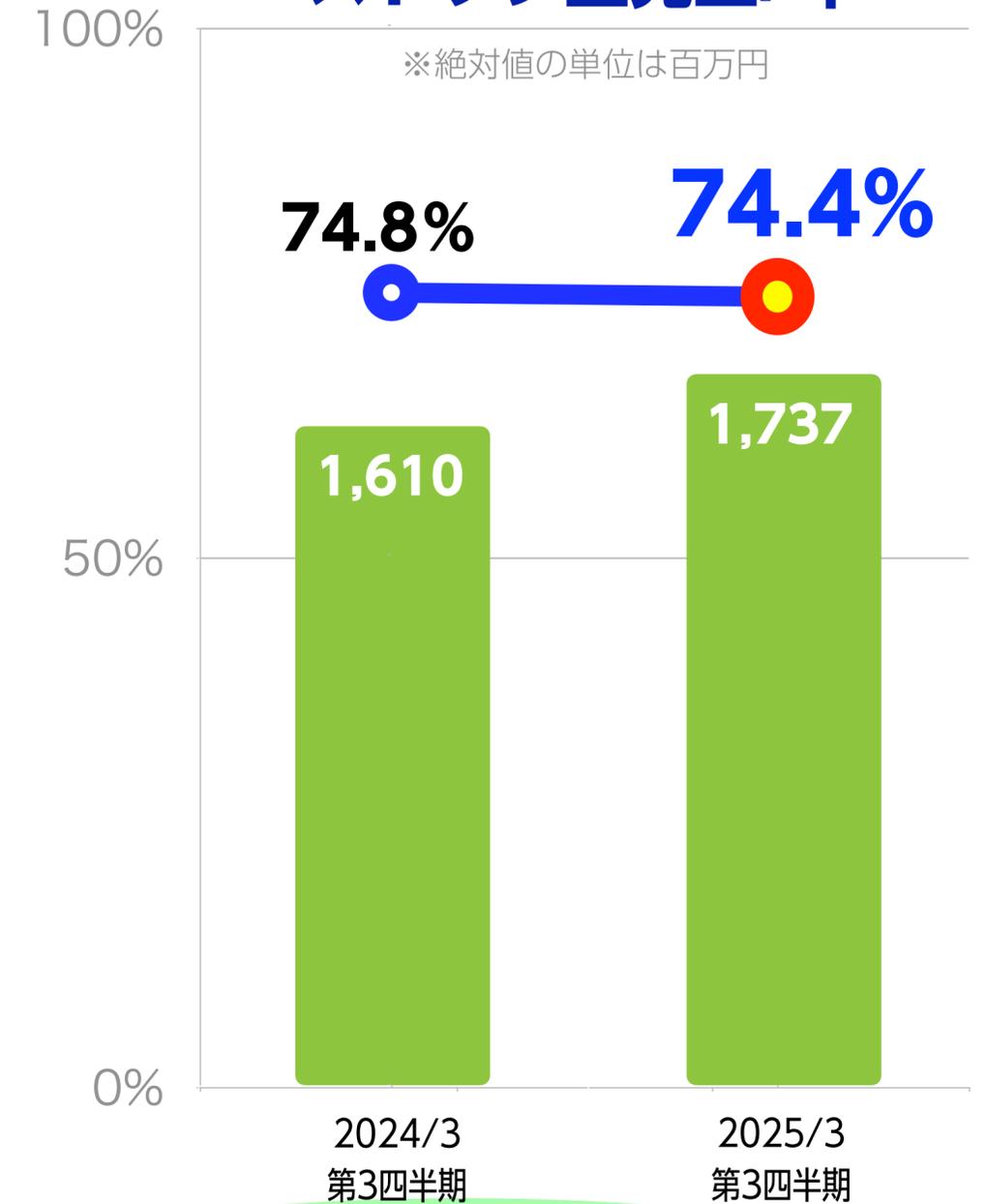
売上総利益/率



調整後EBITDA/率



ストック型売上/率



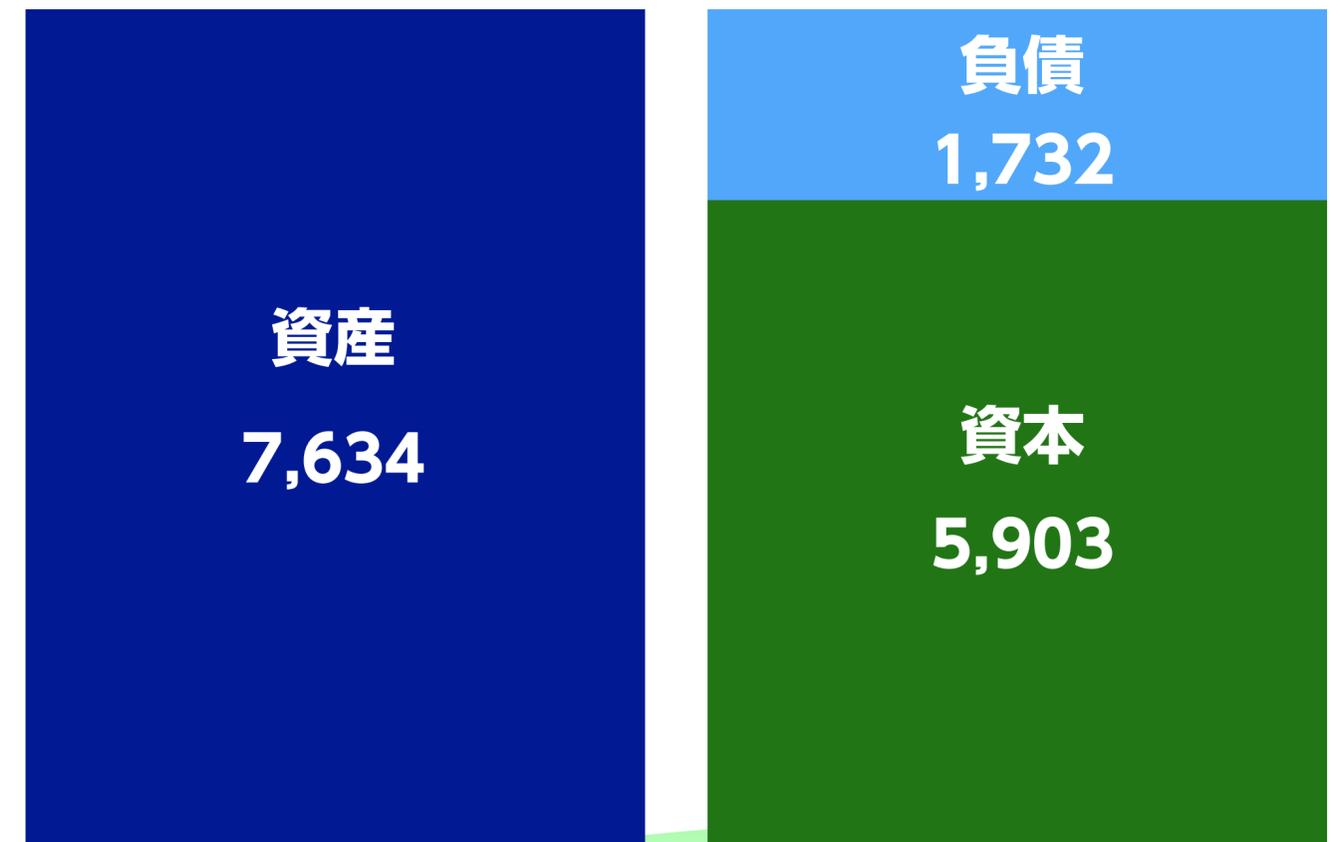
財政状態計算書 (2024年12月末現在)

◆ 将来的な減損の要因となりうる「のれん」は0に

◆ 健全な財務状況とキャッシュ・フローを継続

	2024年3月末	2024年12月末	増減	
資産の部	現預金等	1,731	2,696	964
	営業債権	177	176	▲ 1
	その他流動資産	598	77	▲ 522
	有形固定資産	938	830	▲ 109
	のれん	0	0	0
	無形資産	241	308	66
	投資等その他	3,901	3,549	▲ 352
	資産合計	7,587	7,634	47
負債の部	借入金	243	100	▲ 143
	営業債務	113	94	▲ 20
	未払法人所得税等	0	232	232
	その他流動負債	892	1,009	117
	長期借入金	215	0	▲ 215
	その他非流動負債	367	297	▲ 70
負債合計	1,830	1,732	▲ 99	
資本の部	株主資本	4,835	5,005	170
	その他資本の構成要素	747	779	32
	非支配持分	175	119	▲ 56
	資本合計	5,757	5,903	146

自己資本比率	PBR(株価純資産倍率)
77%	1.57



アステリア (3853) 第3四半期まとめ

- ✓ **ソフトウェア事業が好調で四半期利益が黒字回復**
- ✓ **営業利益と期末配当予想を上方修正・株主還元強化**
(1/6開示済み)
- ✓ **調整後EBITDAは第3四半期で7億円超の黒字へ**
(ソフトウェア事業の実力値)
- ✓ **引き続きストック売上 (サブスク&サポート製品)が好調**



2025年3月期 第3四半期決算説明会

お問い合わせ:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)